

(1) ナンキンハゼ駆除作業マニュアル作成の背景と目的

平成28年（2016）3月に策定した春日山原始林保全計画では、「外来種ナンキンハゼの侵入を抑制する保全方策の実施」を原始林の課題解決のための保全方策の一つとし、林内に侵入したナンキンハゼの駆除を目標としている（図1）。

短期目標である「駆除方法の確立」に向けて、春日山原始林ではナンキンハゼ実生の引き抜きによる駆除や、成木の伐採による実証実験に取り組んできた。また、奈良公園の平坦部でも「生態系の保護」、「名勝としての風致景観の継承」の2つの観点から、令和2年度（2020）に公園内のナンキンハゼの伐採、令和4年度（2022）に若草山における管理手法の検討を開始している。

保全事業では、ナンキンハゼの駆除方策の検討にあたり、駆除の実施区域、手法、体制、スケジュールについて示す「春日山原始林ナンキンハゼ駆除作業マニュアル（案）」を平成28年度（2016）に作成した。**令和2年度（2020）以降に実施したナンキンハゼの駆除に係る実証実験により、作業に係るノウハウが蓄積したこと**から、マニュアル案の内容を更新し、中期目標である「外来種ナンキンハゼの駆除」に向けた各種の取り組みを確実に進めるため、**駆除作業の手順や指針について示すマニュアルを作成した。**

春日山原始林の外来種であるナンキンハゼの侵入を抑制するため、具体的駆除方法を検討し、原始林へ極力影響を与えないよう配慮した上で駆除作業を実施する。

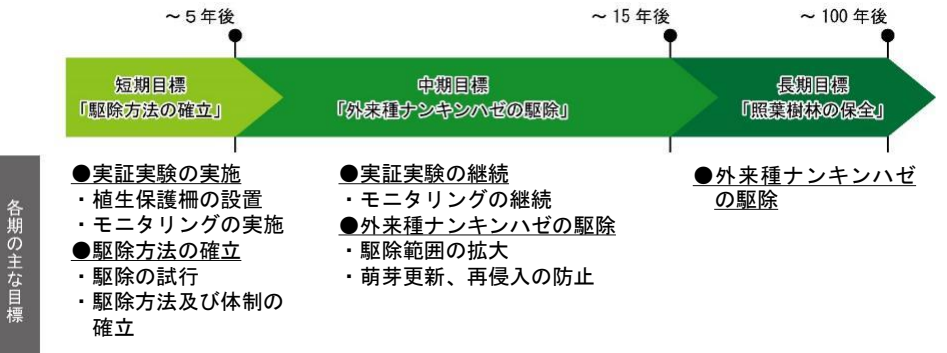


図1 外来種ナンキンハゼの侵入を抑制する保全方策の目標とスケジュール（春日山原始林保全計画）

(2) 駆除作業マニュアルの内容（参考資料1）

●取り組みの経緯

春日山原始林保全計画におけるナンキンハゼの位置付け等

●基礎情報の整理

ナンキンハゼの特徴、春日山原始林への侵入と分布の拡大状況

●駆除作業の方法（図2、図3）

実施対象区域の設定、手順、作業の実施主体、規格別・生育段階別の駆除手法等

●駆除後の調査・作業の内容

モニタリング調査の実施、新規実生・萌芽の継続的な除去等

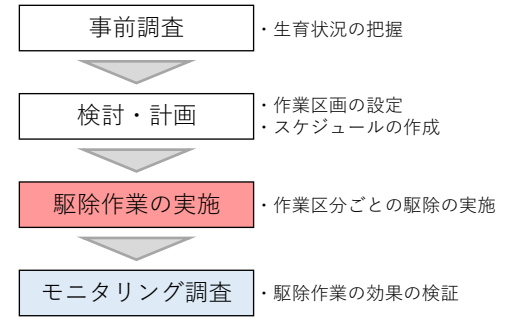


図2 ナンキンハゼ駆除作業のフロー

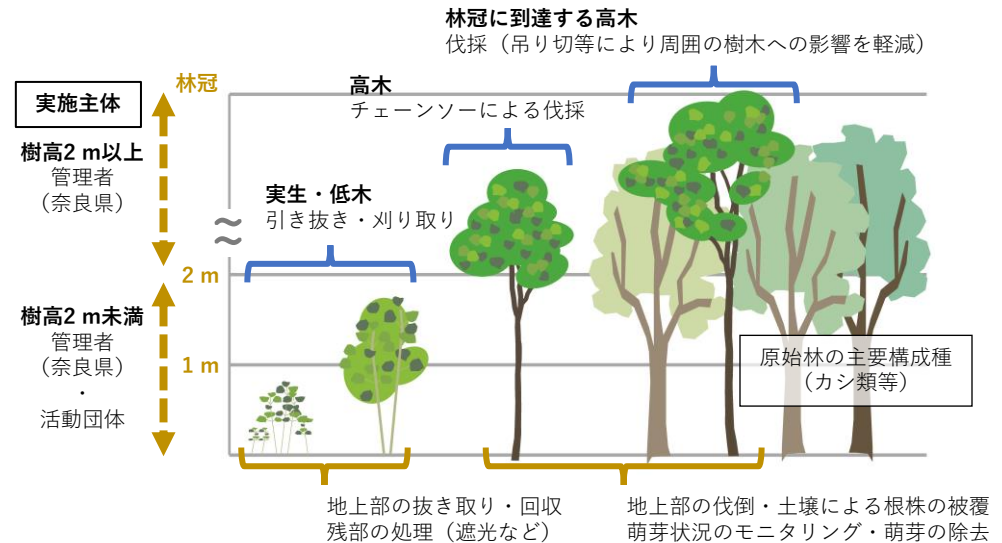


図3 作業区分と実施主体・実施手法